

**SONY**<sup>®</sup>

4-572-803-01(1)

# クリップオン LCDモニター

## 夹式监视器

取扱説明書

JP

使用说明书

CS

**HDMI**<sup>™</sup> **ni** Multi  
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE Interface Shoe

Accessory Shoe

CLM-FHD5

## 危険 安全のために

(32～37ページも合わせてお読みください。)

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、誤った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、ソニーの相談窓口 に修理を依頼する
- 万一、異常が起きたら

- 本機が熱くなり変な音、変なにおい、煙が出たら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは



- ❶ 本機の電源を切る。
- ❷ 電池をはずす。
- ❸ ソニーの相談窓口 に修理を依頼する。

### 警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### 危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

#### 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・事故などにより死亡や大けがなど人身事故になることがあります。

#### 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

#### 注意を促す記号



感電



火災



感電

#### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

#### 行為を指示する記号

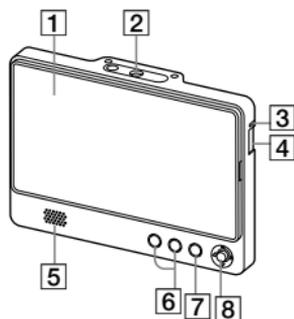


指示

# 目次

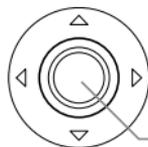
各部の名前 .....	4
<b>準備</b>	
お使いになる前に必ずお読みください .....	5
付属品を確認する .....	6
バッテリープロテクターについて .....	6
電源を準備する .....	7
バッテリー(電池)を取り付ける .....	7
ACアダプターを接続する .....	9
カメラへ取り付ける .....	9
画面の向きを調節する .....	11
液晶フードを取り付ける/取りはずす .....	12
<b>モニターを使う</b>	
モニターを使う .....	14
拡大して見る .....	14
本機の設定をする .....	15
ピーキング .....	19
False Color .....	20
Video Level Marker .....	22
S-Log映像を自然な明るさで見る(S-Log表示アシスト) .....	23
TV表示範囲(マーカー表示) .....	24
<b>その他</b>	
故障かな?と思ったら .....	25
使用上のご注意(性能を保持するために) .....	27
主な仕様 .....	29
保証書とアフターサービス .....	31
安全のために .....	32
その他の安全上のご注意 .....	37

# 各部の名前

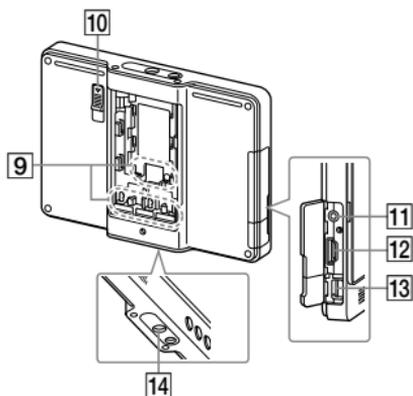


( )内の数字は参照ページです。

- 1 液晶画面
- 2 三脚ネジ穴
- 3 電源ランプ (8)
- 4 電源ボタン
- 5 モノラルスピーカー
- 6 カスタムボタン (C1/C2) (18)
- 7 MENUボタン (15)
- 8 ZOOM/SELECTボタン



拡大ボタン (14)、  
MENU表示時:  
決定ボタン (15)



- 9 バッテリー端子
- 10 バッテリーリリースレバー
- 11 ヘッドホン端子  
3.5mmステレオミニジャック
  - ヘッドホンを接続しているときはスピーカーからは音声出力されません。
- 12 HDMI (Type A) 端子
- 13 DC IN端子
- 14 三脚ネジ穴

# お使いになる前に 必ずお読みください

電源ランプ<sup>③</sup>について  
電源ランプで本機の状態を確認で  
きます。

## 緑(点灯):

起動時、電源オン  
(バッテリー駆動中)

## 白(点灯):

起動時、電源オン  
(ACアダプター駆動中)

## 赤(点灯):

バッテリー残量少

## 赤(速く点滅):

バッテリー切れ直前

## 消灯:

終了時、電源オフ

本取扱説明書とあわせて、お使いの  
カメラの取扱説明書もご確認ください。

**本機は防じん、防滴、防水仕様では  
ありません。**

## 置いてはいけない場所

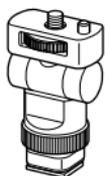
使用中、保管中にかかわらず、次のよう  
な場所に置かないでください。故障の  
原因になります。

- 異常に高温になる場所  
炎天下や夏場の窓を閉め切った自  
動車内は特に高温になり、放置する  
と変形したり、故障したりするこ  
とがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近  
く  
変形したり故障したりすることがあ  
ります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場  
所  
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起  
こる場所などでは、砂がかからない  
ようにしてください。故障の原因に  
なることがあります。

# 付属品を確認する

以下の付属品が揃っているかをお確かめください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- シューアダプター (1)



- 液晶フード (1)



- バッテリーアダプター (1)



- HDMIケーブル (Mini HDMI)  
(約45cm、Type A⇔Type C) (1)
- HDMIケーブル (Micro HDMI)  
(約45cm、Type A⇔Type D) (1)
- バッテリープロテクター (1)

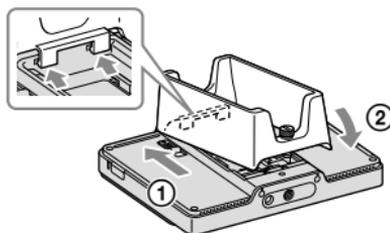
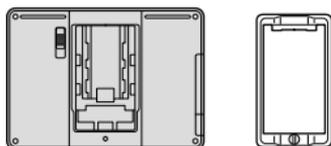


- 収納ポーチ (1)
- 印刷物一式

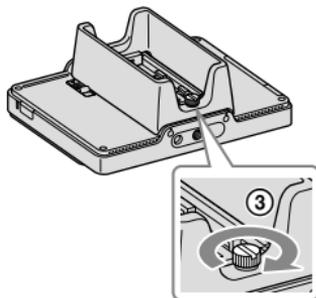
# バッテリープロテクターについて

NP-FW50 (バッテリーアダプターを取り付けた状態で)、NP-FM500H、NP-FV50 および NP-FV70 をご使用の場合、バッテリープロテクターを本機に取り付けてから使用してください。

- 1 図のようにバッテリープロテクターを本機に取り付ける。



- 2 バッテリープロテクターをネジで固定する。



# 電源を準備する

## バッテリー(電池)を取り付ける

本機にはソニー製リチャージャブルバッテリー Mシリーズ、Vシリーズ、Wシリーズ(別売)をご使用になれます。これ以外のバッテリーは正常に動作しないためご使用いただけません。

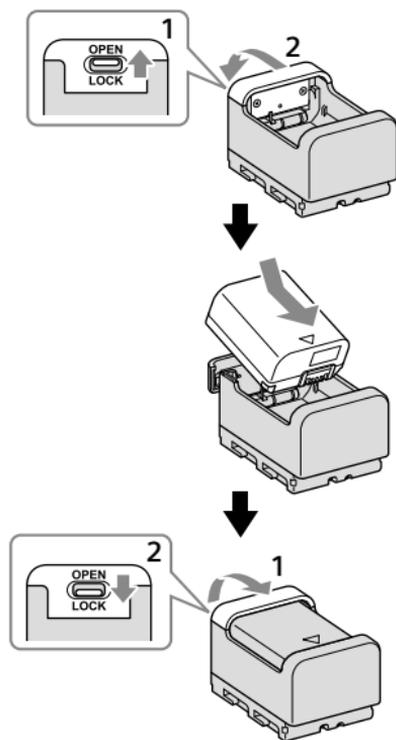
### ご注意

- NP-FW50(バッテリーアダプターを取り付けた状態で)、NP-FM500H、NP-FV50およびNP-FV70をご使用の場合、本機にバッテリープロテクターを装着してください。
- NP-QM71D、NP-QM91D、およびNP-FV100、NP-FV100Aをご使用の際は、カメラを三脚に取り付けてご使用ください。

## バッテリーアダプター

リチャージャブルバッテリー Wシリーズをご使用の際は、付属のバッテリーアダプターが必要です。

- ① バッテリーアダプターにバッテリーを取り付ける。



### ご注意

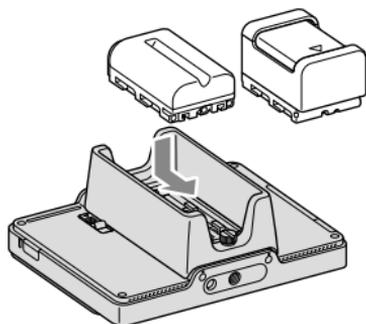
バッテリーアダプターは本機専用です。他の機器に使用すると故障の原因となります。

次ページにつづく

充電が完了したバッテリーを取り付ける。

バッテリーを軽く押し込んで、そのまま図の矢印方向へスライドさせてください。カチッと音がして、バッテリーが本機に固定されます。

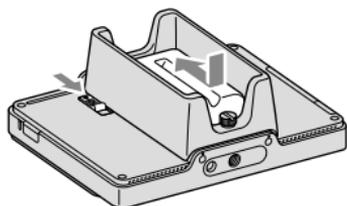
\* 斜めにスライドさせると、固定されない場合があります。



**バッテリーを取りはずすときは**

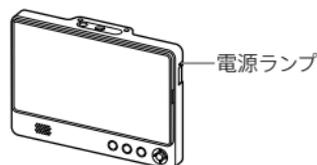
バッテリーリリースレバーを矢印方向にスライドさせながら、バッテリーを矢印方向にスライドさせると本機からはずれます。

取りはずしの際、バッテリーが落下しないようご注意ください。



**バッテリーの残量を確認するには**

本機の電源ランプの色などをご確認ください。



**緑(点灯):**

バッテリー残量あり

**赤(点灯):**

バッテリー残量少

**赤(速く点滅):**

バッテリー切れ直前。10秒後に本機の電源が自動的に切れます。

\* バッテリーの種類や使用環境によって、バッテリーの残量が少なくなるときの点灯時間は異なります。

**バッテリー使用時の動作時間  
(25℃下で新品を使用/  
HDMI接続し連続使用時)**

NP-FM500H使用時: 約120分

NP-QM71D使用時: 約210分

NP-QM91D使用時: 約390分

NP-FW50使用時: 約60分

NP-FV50使用時: 約50分

NP-FV70使用時: 約130分

NP-FV100使用時: 約200分

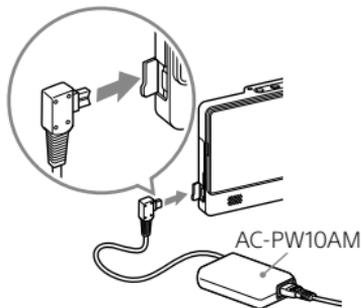
NP-FV100A使用時: 約300分

# カメラへ取り付け

- \* バッテリー使用時の動作時間(8ページ)は、満充電時の目安になります。使用状況や使用環境により異なる場合があります。

## ACアダプターを接続する

別売のソニー製ACアダプター(AC-PW10AM)を接続します。



### ご注意

- 本機にACアダプターを接続しても、本機に取り付けたバッテリーは充電されません。
- 本機にバッテリーを取り付けた状態でACアダプターを接続した場合は、ACアダプターの電源が優先されます。
- 故障の原因になりますので、起動時や終了時には、バッテリーおよびACアダプターをはずさないでください。
- ACアダプターをご使用の際は、お手近なコンセントを使用してください。本機をご使用中、不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

本機とシューアダプターを接続し、カメラに取り付けます。

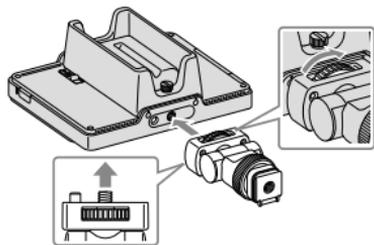
### ご注意

シューアダプターは本機以外には使用しないでください。

- 1 シューアダプターの三脚ネジを本機の三脚ネジ穴に差し込む。

シューアダプターのネジ部が本機のネジ穴に入るように取り付けてください。

- 2 シューアダプターのダイヤルを回して固定する。

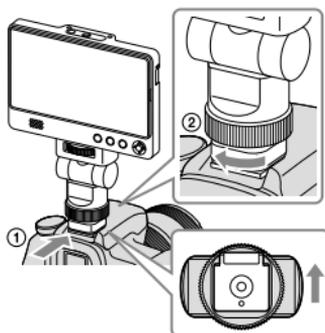


- 3 シューアダプターをカメラのシューに取り付ける(クリップオン)。

- ①シューアダプターのフットを矢印方向に差し込む。

次ページにつづく

- ②シューアダプターのダイヤルを◀(LOCK)の方向に止まるまで回して、カメラに確実に固定する。

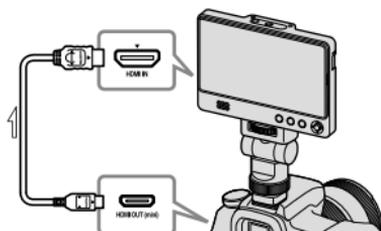


カメラへの取り付けについては、お使いのカメラの取扱説明書もご確認ください。

#### ご注意

- ご使用のカメラの内蔵フラッシュがポップアップ式の場合は、以下をご確認ください。
  - －必ずカメラの内蔵フラッシュを閉じてください。また内蔵フラッシュの自動発光機能があるカメラでは自動発光機能をオフにしてください。
  - －フラッシュをお使いの際は本機をカメラから取りはずしてご使用ください。
- 撮影中の落下防止のために、ご使用前にカメラと本機が確実に固定されていることをご確認ください。

- 4 お使いのカメラのHDMI端子の形状に合ったHDMIケーブル(付属)で本機とカメラを接続する。



ケーブルの長さが足りない場合は別売のソニー製HDMIケーブルをご使用ください。

#### ご注意

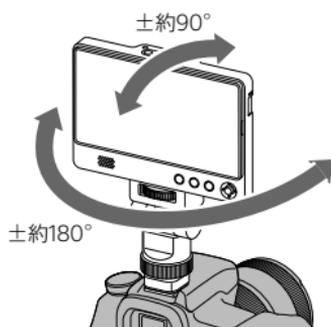
- 本機とカメラをHDMI接続した際、カメラの仕様により以下の状態になる場合があります。
  - －カメラの液晶画面に映像が表示されない。
  - －カメラが再生モードに切り換わる。(撮影の際はカメラが撮影モードになっているかご確認ください。)
- 以下の状態で一定の時間が経過すると本機のバックライトが消えます。
  - －カメラからのHDMI信号が出力されていない。
  - －HDMIケーブルがはずれている。

# 画面の向きを調節する

以下を行うとバックライトは再点灯します。

- C1ボタン、C2ボタン、MENUボタン、ZOOM/SELECTボタンのいずれかを操作する。
- カメラを操作してHDMI信号を出力させる。
- HDMIケーブルを接続し直してカメラの電源を入れる。

画面の向きを上下または左右に調整します(パン/チルト)。

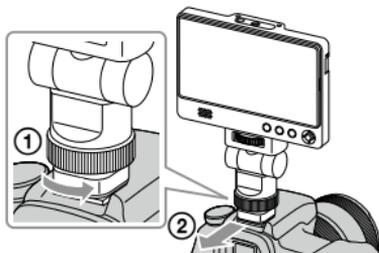


準備

## カメラから取りはずすには

HDMIケーブルをはずしたあと、シューアダプターをカメラのシューから取りはずしてください。

- ①シューアダプターのダイヤルを◀(LOCK)と反対の方向に回してロックを解除する。
- ②ロックが解除されているのを確認してから、シューアダプターを手前にスライドさせる。



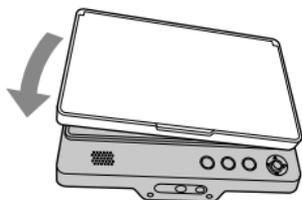
## ご注意

- 使用するバッテリーやカメラによっては内蔵フラッシュと干渉する場合がありますので、無理にパン/チルトさせないでください。
- HDMIケーブルが伸びきったり、可動部に挟まれたりしないよう、引き回しにご注意ください。

# 液晶フードを取り付ける/取りはずす

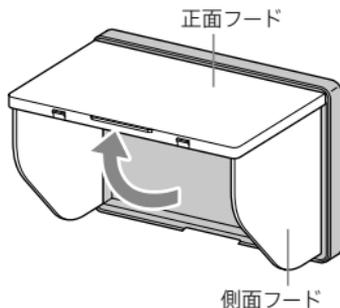
太陽などが映りこむのをふせぎ、画面を見やすくします。

- 1 液晶フードの枠内側のツメを本機の外側にあるくぼみに合わせて取り付け。

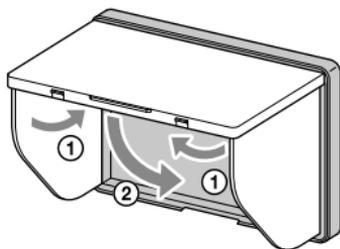


右側をはめてから、左側を押し込んで取り付け

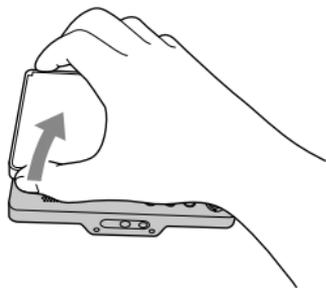
- 2 図のように開く。



液晶フードを閉じるには図の手順で閉じます。



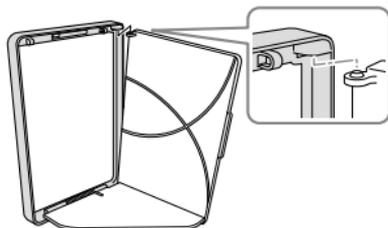
液晶フードを取りはずすには液晶フードの枠左部を手前に引くように取りはずします。



フードがはずれたときは過度な力が加わると、破損を防ぐためにフードがはずれることがあります。

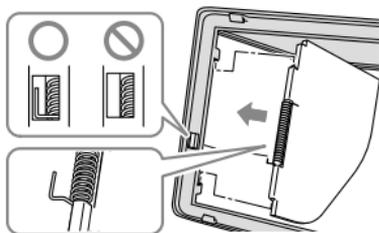
● 側面フードがはずれたとき

① 正面フードをはずす。



② 側面フードを取り付ける。

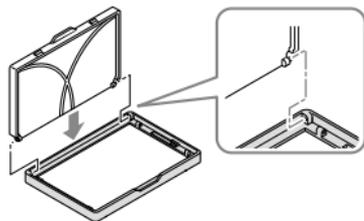
バネの先端を枠中央の溝に押し込みながら、枠上下の溝に側面フードの突起をはめこむ。



ご注意

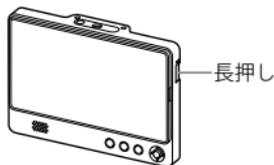
バネの先端が溝に入っていないと側面フードは開きません。開かない場合は、バネの先端が溝に入るように取り付け直してください。

- 正面フードがはずれたとき  
図のように、枠上部の内側にある溝へ正面フードの突起をはめ込む。



# モニターを使う

- 1 カメラと本機の電源を入れる。  
本機の電源ボタン( )を長押しして電源を入れます。



本機の液晶画面にカメラから出力された画像が表示されます。カメラの電源の入れかたについては、お使いのカメラの取扱説明書をご確認ください。

本機の電源が入っているときに電源ボタン( )を長押しすると、電源が切れます。

## ご注意

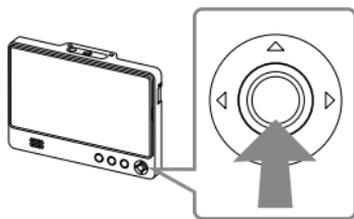
- 解像度が1,920×1,080以下の映像は、自動的に拡大表示されます(オートズーム機能)。
- 本機のアスペクト比は16:9です。16:9以外の映像を表示すると、黒い帯が表示されます。  
表示例) 3:2



## 拡大して見る

表示画像の一部を拡大表示できます。

- 1 画像表示中にZOOM/SELECTボタン(中央)を押す。押すたびに×3→×6→×1(または×1.3(17ページ))に倍率が切り替わります。



- 2 ZOOM/SELECTボタン(上下左右)を押して、拡大表示する位置を決める。  
×3と×6ではスモールマップを使って、拡大表示している位置の確認ができます。



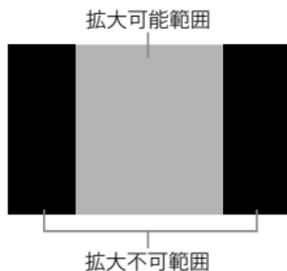
- 1 倍率  
現在の倍率を表示します。
- 2 スモールマップ  
拡大部をマップ(5×5)で表示します。
- 3 移動ガイド(上下左右)

### ご注意

倍率や入力信号の種類により、拡大可能な範囲に制限がかかります。

×6では、すべての入力信号で制限がかかります。

×3では、1080/24pの信号入力時に制限がかかります。



※イラストはイメージです。

## 本機の設定をする

音量や画面の明るさなどの簡単な設定や、色温度や S-Log表示アシストなどの詳細な設定ができます。

- 1 本機のMENUボタンを押す。  
画面右側にMENU画面が表示されます。
- 2 ZOOM/SELECTボタン(上下)を押し、設定したい項目のアイコンにカーソルを合わせる。



各アイコンの詳細説明は、17、18ページをご覧ください。

- 3 ZOOM/SELECTボタン(中央)を押す。  
希望の設定内容/設定値が表示されるまで手順2と3を繰り返します。

次ページにつづく

---

**4** ZOOM/SELECTボタン(上下)を押して、希望の設定内容／設定値を選ぶ。

---

**5** ZOOM/SELECTボタン(中央)を押す。  
選んだ設定が保存され、MENU画面に戻ります。

**ご注意**

手順5を行う前にMENUボタンを押すと、設定はキャンセルされます。

MENU画面表示中にMENUボタンを押すと、MENU画面が非表示になります。

**プレビュー機能について**

設定の保存前に効果を確認できる機能です。プレビュー機能に対応している項目については、17、18ページをご覧ください。

## 設定内容一覧

アイコン	設定項目
	<b>拡大表示*</b> HDMI入力の画像が、約1.3倍に拡大されます。 設定値: OFF、ON 初期設定: OFF
	<b>TV表示範囲(マーカー表示) (24ページ)</b> 画角の少し内側に目安となるグリッドを表示する。
	<b>音量*</b> 設定値: 0(小) ~100(大) 初期設定: 30
	<b>画面の明るさ*</b> 設定値: 0(暗) ~100(明) 初期設定: 50
	<b>画面のコントラスト*</b> 設定値: 0(小) ~100(大) 初期設定: 50
	<b>色相(フェーズ/色あい) *</b> 設定値: 0(緑) ~100(紫) 初期設定: 50
	<b>画面のバックライト*</b> 設定値: 0(暗) ~5(明) 初期設定: 5
	<b>色温度(画面のホワイトバランス調整) *</b> 設定値: 9300K、7200K、6500K 初期設定: 6500K
	<b>S-Log表示アシスト ON/OFF*(23ページ)</b> 設定値: OFF、ON 初期設定: OFF
	<b>詳細設定(18ページ)</b>

\*プレビュー機能(16ページ)に対応しています。

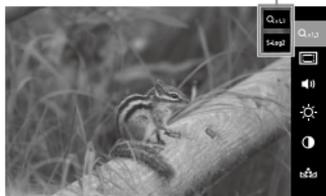
## 設定内容一覧(詳細設定)

アイコン	設定項目	
	<p><b>C1</b></p> <p><b>C2</b></p>	<p>カスタムボタン(C1/C2) よく使う機能をボタンに登録できます。 登録できる機能:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> ピーキング(19ページ)</li> <li> False Color(20ページ)</li> <li> Video Level Marker(22ページ)</li> <li> 音量(17ページ)</li> <li> 画面の明るさ(17ページ)</li> <li> 画面のコントラスト(17ページ)</li> <li> 色相(フェーズ/色あい)(17ページ)</li> <li> 画面のバックライト(17ページ)</li> </ul> <p>初期設定: ピーキング(C1)、False Color(C2)</p>
		<p>S-Log表示アシストタイプ*(23ページ) S-Log表示アシストのタイプを選択できます。 設定値: S-Log2、S-Log3 初期設定: S-Log2</p>
		<p>S-Log表示アシストゲイン補正*(23ページ) S-Log表示アシストのゲイン補正量を選択できます。 設定値: +2、+1、0、-1、-2 初期設定: 0</p>

\*プレビュー機能(16ページ)に対応しています。

スモールアイコンについて  
「拡大表示」、「S-Log表示アシスト  
ON/OFF」をONに設定すると、ス  
モールアイコンが表示されます。

スモールアイコン



### ご注意

- プレビュー時は、スモールアイコンは変わりません。
- $\times 3/\times 6$  で表示中でも、拡大表示 (14ページ) の設定によっては  $\times 1.3$  のスモールアイコンが表示されます。

### 初期設定に戻すには

- ①電源を切る。
- ②ZOOM/SELECTボタン (中央) を押しながら電源を入れる。



## ピーキング

映像全体をモノクロ表示し、その中でピントが合っている箇所を色付くで表示する機能です。

さまざまな撮影条件でも、実際にピントが合っているかを分かりやすく確認できます。

- 1 本機のC1またはC2ボタンに [PEAK] を登録する。  
初期設定ではC1ボタンに [PEAK] が登録されています。 [PEAK] が登録されていないときは、[詳細設定] → [C1] または [C2] で登録してください (18ページ)。

次ページにつづく

## 2 [PEAK]が登録されたボタンを押す。



ピントの合っている部分に色が付く



もう一度手順2と同じボタンかMENUボタンを押すと、元の画像表示に戻り、MENU表示になります。再度MENUボタンを押すことで、MENU表示を消すことができます。

### ご注意

- 本機の仕様によりカメラ側のメニュー表示などに色が付く場合がありますが、故障ではありません。

## False Color

本機の入力映像のレベルを色で確認することができます。

- 1 本機のC1またはC2ボタンに[FC]を登録する。  
初期設定ではC2ボタンに[FC]が登録されています。  
[FC]が登録されていないときは、[詳細設定]→[C1]または[C2]で登録してください(18ページ)。

- 2 [FC]が登録されたボタンを押す。  
もう一度手順2と同じボタンかMENUボタンを押すと、元の画像表示に戻ります。

False Colorの色とビデオ信号レベルの関係は、21ページの表1をご覧ください。

False Color使用時にもS-Log表示アシスト(23ページ)を使うことができます。

S-Log表示アシスト時のFalse Colorの色とビデオ信号レベルの関係は、21ページの表2および表3をご覧ください。

表1 False Colorの色と信号レベル

赤	108以上
黄	100 - 108
ピンク	61 - 65
緑	41 - 45
青	3 - 10
紫	3以下

単位：%

表2 False Colorの色と信号レベル(S-Log表示アシストタイプ: S-Log2時)

	S-Log2				
ゲイン補正量	-2	-1	0	+1	+2
赤	109以上	98以上	85以上	72以上	60以上
黄	91 - 109	78 - 98	66 - 85	53 - 72	41 - 60
ピンク	62 - 63	49 - 52	38 - 40	28 - 29	19 - 21
緑	49 - 52	37 - 40	27 - 30	19 - 21	12 - 14
青	3 - 15	3 - 10	3 - 7	3 - 5	3 - 4
紫	3以下				

単位：%

表3 False Colorの色と信号レベル(S-Log表示アシストタイプ: S-Log3時)

	S-Log3				
ゲイン補正量	-2	-1	0	+1	+2
赤	97以上	88以上	79以上	70以上	61以上
黄	83 - 97	74 - 88	65 - 79	57 - 70	48 - 61
ピンク	63 - 64	54 - 55	45 - 46	37 - 38	29 - 30
緑	53 - 56	45 - 47	36 - 38	28 - 30	21 - 23
青	4 - 24	4 - 18	4 - 12	4 - 8	4 - 6
紫	4以下				

単位：%

## Video Level Marker

入力された映像に対して、下記の選択したレベル付近を緑色で表示します。

- 1 本機のC1ボタンまたはC2ボタンに[VLM]を登録する。  
[詳細設定]→[C1]または[C2]で[VLM]を登録してください(18ページ)。

- 2 VLMレベルを選択する。  
[詳細設定]→[VLM]で選択します。

設定

90%/80%/70%/60%/50%  
(ビデオ信号レベル)

設定が大きいくほど、緑の位置が赤寄りになります。



- 3 手順1で[VLM]を登録したボタンを押す。  
本機の液晶画面にビデオレベルが色で表示されます。

もう一度手順3のボタンかMENUボタンを押すと、通常表示に戻ります。

ご注意

- VLM使用時は、S-Log表示アシスト(23ページ)が一時的に[OFF]になります。
- IREの数値は目安です。実際の映像を確認することをおすすめします。

## S-Log映像を自然な明るさで見る (S-Log表示アシスト)

S-Log映像を通常の映像に近い明るさ、コントラストで表示することができます。フォーカスやモニタリングを容易にします。

MENUボタンを押し、[S-Log]→[ON]を選ぶ。

S-Log表示アシストで表示します。  
[OFF]を選ぶと通常表示に戻ります。

### ご注意

- S-Log表示アシスト, S-Log表示アシストタイプおよびS-Log表示アシストゲイン補正は、本機に入力される映像に対して設定する機能です。接続されているカメラ機器を操作する機能ではありません。
- S-Log表示アシスト時に表示される映像の色は、簡易的に変換されたものです。

S-Log表示アシストの表示では、以下の設定ができます。

S-Log表示アシストのカーブを設定する (S-Log表示アシストタイプ)

- ①MENUボタンを押し、[詳細設定]→[S-Log Type]を選ぶ。
- ②[S-Log2]または[S-Log3]を選ぶ。

S-Log表示アシスト時の明るさを設定する (S-Log表示アシストゲイン補正)

- ①MENUボタンを押し、[詳細設定]→[S-Log Gain]を選ぶ。
- ②[+2]、[+1]、[0]、[-1] [-2]のいずれかを選ぶ。

S-Log表示アシストゲイン補正は、例えば、カメラ機器で-2Ev相当の明るさで撮影した映像が本機に入力された場合、[+2]を選ぶことで、映像を+2Evに相当する明るさに補正して表示することができます。

## TV表示範囲 (マーカー表示)

画角の少し内側に撮影範囲の目安となるグリッドを表示します。グリッドは画角の80%位置、90%位置の2種類があり、TVの再生環境に合わせて設定できます。

(設定値: 80% (16:9)、90% (16:9)、80% (4:3)、90% (4:3))

16:9



4:3



(外側が90%、内側が80%のマーカー)

### ご注意

- 本機の設定は、モニター表示の際のもので、記録される映像自体には影響しません。
- MENU表示中および以下の機能を使用しているときは、マーカー表示が消えます。
  - False Color
  - ピーキング
  - Video Level Marker
  - ×3、×6、×1.3

# 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。

それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

症状	原因／処置
バッテリーがはずれない	<ul style="list-style-type: none"><li>• バッテリーのロックが解除されていない。 → バッテリーリリースレバーを下にスライドさせながら取りはずしてください。(8ページ)</li></ul>
本機の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>• バッテリーが消耗している。 → バッテリーを交換してください。(7ページ)</li><li>• ACアダプター(別売)がはずれている。 → 正しく接続し直してください。(9ページ)</li><li>• バッテリー(別売)がはずれている。 → 正しく取り付けてください。(7、8ページ)</li></ul>
本機の画面に映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>• カメラが省電力状態(パワーセーブ)になっている。 → シャッターボタンを半押しするなどの操作をすれば、パワーセーブは解除されます。</li><li>• HDMIケーブルがはずれている。 → 正しく接続し直してください。(10ページ)</li><li>• カメラの表示設定については、カメラの取扱説明書をご覧ください。</li></ul>
カメラの画面に映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"><li>• お使いのカメラによっては、本機とHDMI接続した際、映像は本機の画面でのみ表示されます。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。</li></ul>

症状	原因／処置
音声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヘッドホンが接続されている。 → ヘッドホンが接続されているときは、本機のスピーカーからは音声を出力しません。</li> <li>● 本機の音量設定が0になっていないかご確認ください。(17ページ)</li> <li>● カメラの設定で音声がOFFになっていないかご確認ください。*</li> <li>● お使いのカメラによっては音声がでない場合があります。*</li> </ul> <p>* 詳しくはカメラの取扱説明書をご確認ください。</p>
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お使いのカメラによっては、本機と接続するとカメラが再生モードに切り換わります。撮影の際はカメラを撮影モードに切り換えてお使いください。</li> </ul>
画面が見づらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日光を防ぐ液晶フードをお使いください。(12ページ)</li> <li>● 画面が暗い場合は、「画面のバックライト」(17ページ)で画面の明るさを調節してください。</li> </ul>
画面に黒い帯が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機のLCDパネルは16：9のため、映像によっては黒い帯が表示される場合があります。(14ページ)</li> </ul>

# 使用上のご注意(性能を保持するために)

バッテリーおよびACアダプター、チャージャーについて  
バッテリーおよびACアダプターやチャージャーは付属していません。  
使用可能なバッテリーおよびACアダプター(8、9ページ)をご使用ください。

お持ちでない場合は、別売のバッテリーおよびACアダプターをお買い求めください。

## 液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。

- 固定された画像または静止画を長時間表示した場合、残像や焼きつきの原因となることがあります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

## 液晶画面の輝点・滅点について

本機の液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり(画素欠け)、常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間にこれらが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

## お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ずバッテリーをはずしてください。

## モニター画面のお手入れについて

モニターの画面は反射による映り込みを抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

- スクリーン表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、研磨剤入り洗剤、化学ぞうきんなどはスクリーン表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

## 外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

## 廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中にモニターを捨てないでください。

## 本体について

- 長時間使用すると本体上部および通気孔部／金属部が熱くなることがあります。使用中および使用後に本体を持つ場合は充分注意してお持ちください。

# 主な仕様

## 画像系

LCD パネル:

TFT ノーマリーブラック

画面サイズ: 約5 型

視野角: 約80° / 約80°

有効表示画面(幅×高さ):

約110 mm × 61.9 mm

解像度: 1,920×1,080画素

アスペクト比: 16 : 9

## 入出力系

### 入力

HDMI 入力: HDMI (Type A) (1)

DC IN 端子: DC 7.6 V

### 出力

内蔵スピーカー出力:

約0.5 W モノラル出力

ヘッドホン出力端子:

φ3.5 ステレオミニジャック (1)

### その他

電源:

DC 7.2 V

ソニー Mシリーズ バッテリー

ソニー Wシリーズ バッテリー

DC 6.8 V

ソニー Vシリーズ バッテリー

(NP-FV50, NP-FV70,

NP-FV100)

DC7.4V

ソニーVシリーズ バッテリー  
(NP-FV100A)

DC 7.6 V

AC-PW10AM

消費電力: 約5.5 W

最大外形寸法(約)

(幅/高さ/奥行き):

139 mm × 100 mm × 23.1 mm  
(突起部含まず)

質量: 約270 g (本体のみ)

動作温度: 約0°C ~ 40°C

保存温度: 約-20°C ~ +60°C

付属品:

シューアダプター (1)、液晶フード

(1)、バッテリーアダプター (1)、

HDMIケーブル (Mini HDMI) (約

45cm、Type A⇔Type C) (1)、

HDMIケーブル (Micro HDMI) (約

45cm、Type A⇔Type D) (1)、

バッテリープロテクター (1)、収納

ポーチ (1)、印刷物一式

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 対応信号フォーマット

本機は下記信号方式に対応しています。

システム	総走査線数	有効走査線	フレームレート	走査方式	アスペクト比
480/60i (NTSC)	525	483	30	2:1 インターレース	16:9/4:3
480/60p	525	483	60	プログレッシブ	16:9/4:3
640x480/60p	525	480	60	プログレッシブ	4:3
575/50i(PAL)	625	575	25	2:1 インターレース	16:9/4:3
576/50p	625	576	50	プログレッシブ	16:9/4:3
720/50p	750	720	50	プログレッシブ	16:9
720/60p	750	720	60	プログレッシブ	16:9
1080/50i	1,125	1,080	25	2:1 インターレース	16:9
1080/60i	1,125	1,080	30	2:1 インターレース	16:9
1080/24p	1,125	1,080	24	プログレッシブ	16:9
1080/50p	1,125	1,080	50	プログレッシブ	16:9
1080/60p	1,125	1,080	60	プログレッシブ	16:9

# 保証書とアフターサービス

## 保証書は国内に限られています

本製品は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

## 保証書

- この製品には保証書が添付されておりますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

調子の悪いときはまずチェックをこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

## それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 品名：CLM-FHD5
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

## 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

(2ページも合わせてお読みください。)



火災

感電

下記の注意事項を守らないと、**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

### 指定の電源電圧で使う

この取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。DC(直流)電源で動作できるモニターは、この取扱説明書に記されているバッテリーでお使いください。指定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。



指示

### 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



禁止

### 通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- おお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

### 内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

## ⚠ 注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池や接続コードを抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。



禁止

接続の際は電源を切る

接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



指示

指定された接続ケーブルを使う

この取扱説明書に記されている接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。



指示

コード類は正しく配置する

接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。



指示

移動の際は電池や接続コードを抜く

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。



指示

バッテリーを持って、モニターを移動しない

運搬するときはモニター本体底面を持ってください。バッテリーを持って運搬すると、本体が落下してけがの原因となることがあります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてケガの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。



禁止

水のある場所に設置しない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。



水ぬれ禁止

## 密閉環境に設置する際は 注意する

本機を棚などに収納した際、上下および周辺の機器によりモニター周辺の通風が妨げられ動作温度が上がり、故障や発熱の原因となる可能性があります。

本機の動作条件温度0℃から40℃を保つように上下および周辺機器との隙間を充分に取り、通気孔の確保等のご配慮ください。

ブラケット (VCT-55LH) などに本機や他のアクセサリを取り付けて使用する場合は、手持ち撮影をしないで三脚を使用する

アクセサリの取り付けや、本機の分離・合体を  
確実にを行う

アクセサリの取り付けかたや、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機やアクセサリが落下して、けがの原因となることがあります。取付説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。



注意



指示



指示

モニターの重量にあった  
三脚を使用する

モニターの重量に耐えきれない三脚または三脚以外に取り付けて使用すると、本機が落下し、けがの原因となることがあります。

三脚・雲台を確実に固定  
する

三脚・雲台が確実に固定されていないとモニターが落下し、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を  
切って電池を抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

子どもの手の届かない場  
所に設置・保管する

はずれた部品を飲み込んだり、落としてけがをしたりするなど、事故の原因となることがあります。

ぬれた手で電池やACア  
ダプターをさわらない

ぬれた手でACアダプターや電池を抜き差しすると感電の原因となることがあります。



指示



指示



指示



指示



禁止

電源コードは人が歩く場所に配線しない

電源コードが、人の歩く場所にはみ出ていると、つまずいたり、足をひっかけて落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

本機をカメラに取り付けた状態で、本機のみを持って持ち上げたり運んだりしない



禁止

本機を持ち運ぶ際は、カメラから取りはずす



指示

## 危険

### 電池についての安全上の注意とお願い

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

#### 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
  - ① 機器の電源スイッチを切る。
  - ② ソニーの相談窓口にご連絡する。
- 電池の液が目に入ったら  
すぐきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。
- 電池の液が皮膚や衣服に付いたら  
すぐにきれいな水で洗い流す。
- バッテリー収納部内で液が漏れたら  
よくふきとってから、新しい電池を入れる。

ここでは、本機で使用可能なソニー製リチウムイオン電池についての注意事項を記載しています。



- 充電には、専用のバッテリーチャージャーを使用する。
- 火の中に投げ入れたり、加熱、半田付け、分解、改造をしない。
- 直射日光の当たるところ、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温の場所で、使用・放置・充電をしない。



- ハンマーでたたくななどの強い衝撃を与えたり、踏みつけたりしない。
- 接点部や⊕極と⊖極をショートさせたり、金属製のものと一緒に携帯・保管をしない。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。
- 電池使用中や充電、保管時に異臭がしたり、発熱・液漏れ・変色・変形などがあったときは、すぐに使用や充電をやめる。

- 水や海水につけたり、濡らしたりしない。
- 乳幼児の手の届かないところおく。
- 電子レンジや高压容器に入れない。



- 充電のしかたについてはバッテリーチャージャーの取扱説明書をよく読む。

### お願い



### Li-ion リチウムイオン 電池

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

# その他の安全上のご注意

## 警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

機器を水滴のかかる場所に置かないでください。また水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないでください。

### 飛行機でのご使用について

飛行機の離着陸時には、機内の案内に従ってください。

### 商標について

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

### 使い方相談窓口

フリーダイヤル  
…………… **0120-333-020**  
携帯電話・PHS・一部のIP電話  
…………… **050-3754-9577**

### 修理相談窓口

フリーダイヤル  
…………… **0120-222-330**  
携帯電話・PHS・一部のIP電話  
…………… **050-3754-9599**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談は  
こちらへお問い合わせください。

**FAX(共通) 0120-333-389**



上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に  
「**402**」+「**#**」 を押してください。直接、担当窓口へおつながります。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

在操作本产品前，请通读本手册，然后保存好本手册以备将来参考。

## 警告

为减少发生火灾或触电的危险，请勿让本装置淋雨或受潮。  
为减少火灾或触电的危险，请勿在本装置上放置如花瓶等盛有液体的物体。

## 注意

请只使用指定类型的电池进行更换。  
否则，可能造成着火或人员受伤。

切勿将电池暴露在阳光、火或类似的极热环境下。

太大的耳机声压会损害听力。

关于主机外壳金属部分感觉到微弱电流：

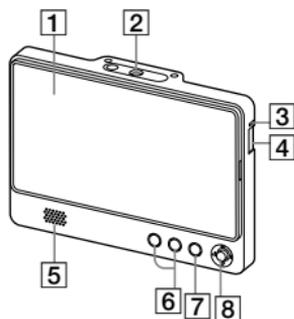
在将电源适配器与主机连接后，根据接触部位和个人的不同，您有时在接触金属外壳或接口时可能会感觉到微弱电流。产生这种现象的原因是因为电源适配器中有抑制电磁干扰的元件，该元件在初、次级之间构成了必要的回路。您可以放心的是此微弱电流被控制在国家安全标准所规定的限值范围之内，且本产品在生产出厂时已通过严格的质量检查，因此请您放心使用。  
如您有疑问，请与附近的索尼维修站联系。

# 目录

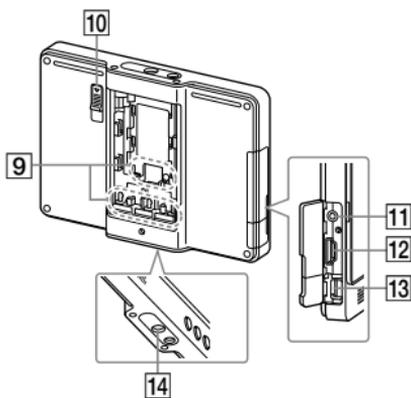
部件识别.....	4
<b>准备</b>	
使用之前.....	5
检查附件.....	6
准备电源.....	7
安装电池.....	7
连接至电源适配器.....	9
安装至相机/摄像机.....	10
调整屏幕方向.....	13
安装遮光罩.....	13
<b>使用显示器</b>	
使用显示器.....	16
放大影像.....	16
菜单设置.....	17
峰值.....	22
假彩色.....	23
视频电平标志器.....	26
以自然亮度查看 S-Log 影像 (S-Log 显示助手).....	27
电视显示区域 (标志器显示).....	28
<b>其他</b>	
故障排除.....	29
使用须知.....	31
规格.....	33

# 部件识别

括号中的数字为参考页。



- 1 LCD 屏幕
- 2 三角架插孔
- 3 电源指示灯 (8)
- 4  $\text{\textcircled{P}}$  (开启/待机) 按钮
- 5 单声道扬声器
- 6 自定义按钮 (C1/C2) (20)
- 7 MENU 按钮 (17)
- 8 ZOOM/SELECT 按钮



放大按钮 (16)  
用于 MENU 显示:  
Enter 按钮 (17)

- 9 电池端子
- 10 电池释放杆
- 11 耳机插孔  
可用 3.5 mm 立体声微型插孔连接耳机，用于收听声音。
  - 连接耳机后，扬声器中将不会发出任何声音。
- 12 HDMI (Type A)
- 13 DC IN 插孔
- 14 三角架插孔

# 使用之前

## 电源指示灯

利用电源指示灯可以检查本装置的状态。

绿色（亮起）：

开启电源或电源已开启。

（由电池供电）

白色（亮起）：

开启电源或电源已开启。

（由电源适配器供电）

红色（亮起）：

电池电量不足。

红色（快速闪烁）：

电池电量已用尽。

熄灭：

关闭电源或电源已关闭。

请仔细阅读本使用说明书及相机/摄像机的使用说明书。

本装置并未采用防尘、防溅水或防水设计。

请勿将本装置放置于下列地方

无论本装置处于使用状态还是存放状态，均请勿将其放置于下列任何地方。否则，可能导致故障。

- 将本装置放置于仪表盘等暴露于直射阳光下的地方或靠近加热器的地方时，可能导致本装置变形或出现故障。
- 振动过大的地方
- 电磁强度过大的地方
- 多沙的地方

在海滨及其他多沙区域或者发生尘雾的地方，应避免让本装置受到沙尘的侵袭。否则，可能导致故障。

# 检查附件

检查是否提供了下列附件。如有缺失，请与 Sony 经销商联系。

- 热靴转换器 (1)



- 遮光罩 (1)



- 电池适配器 (1)



- 高清音频视频线 (Mini HDMI)  
(约 45 cm, Type A ↔ Type C) (1)
- 高清音频视频线 (Micro HDMI)  
(约 45 cm, Type A ↔ Type D) (1)
- 携带包 (1)
- 成套印刷文件

# 准备电源

## 安装电池

本装置可使用 Sony 可重复充电电池 M 系列、V 系列和 W 系列（未附带）。请勿使用其他电池，否则本装置将无法正常工作。

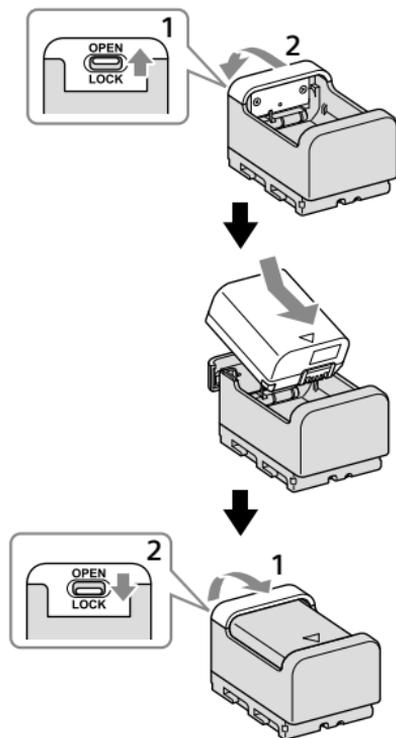
### 注意

使用 NP-QM71D、NP-QM91D、NP-FV100 或 NP-FV100A 时，请先将相机/摄像机安装到三脚架上。

## 电池适配器

使用可重复充电电池 W 系列时，需要用到本装置附带的电池适配器。

- ① 将电池安装到电池适配器上。



### 注意

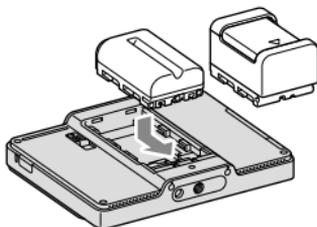
电池适配器是专为本装置设计的。将其用于其他设备可导致设备故障。

将完全充电的电池安装到本装置上。

轻轻将电池压入，在压住电池的同时使其沿图中所示的方向滑动。

电池固定就位时会发出咔哒声。

\* 如果沿斜向滑动电池，可能会导致其无法固定。

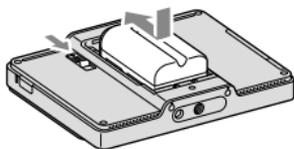


## 取出电池

在如图中所示的方向滑动电池释放杆的同时，沿图中所示的方向滑动电池。

电池从本装置中退出。

取出电池时，小心不要将其掉到地上。



## 检查电池剩余电量

利用电源指示灯的颜色等可以检查剩余电池电量。



绿色（亮起）：

电池电量充足。

红色（亮起）：

电池电量不足。

红色（快速闪烁）：

电池电量已用尽。大约 10 秒钟后，本装置的电源会自动关闭。

\* 当电池电量不足时，取决于电池种类或环境状况，照明时间可能会与上述时间有所不同。

电池使用寿命（约）  
（在 25 °C 条件下，  
安装全新电池且通过  
HDMI 连接至相机/摄  
像机的情况下，连续使  
用本装置）

NP-FM500H: 120 分钟

NP-QM71D: 210 分钟

NP-QM91D: 390 分钟

NP-FW50: 60 分钟

NP-FV50: 50 分钟

NP-FV70: 130 分钟

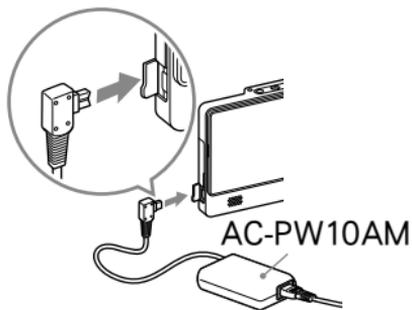
NP-FV100: 200 分钟

NP-FV100A: 300 分钟

\* 电池使用寿命是在使用  
完全充电的电池时的大  
致时间。取决于工作条  
件和环境状况，实际时  
间可能会有所不同。

## 连接至电源适配器

本装置可利用 Sony 电源  
适配器 AC-PW10AM（未  
附带）通过家用电源进行  
供电。



### 注意

- 即使在连接电源适配器的情况下，也不会对本装置上安装的电池进行充电。
- 如果在安装电池的同时还将本装置连接到电源适配器上，则优先使用电源适配器。
- 开启或关闭本装置电源时，切勿移除电池及电源适配器。否则可导致故障。

续

# 安装至相机/摄像机

- 使用本装置时请使用附近的壁式插座。如果在本装置使用过程中出现任何故障，应将其从壁式插座上拔下，从而断开电源连接。

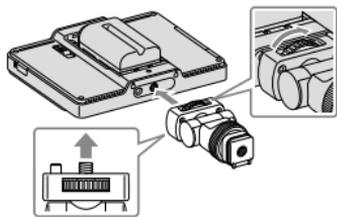
将热靴转换器安装至本装置，然后再安装到相机/摄像机上。

## 注意

热靴转换器只能安装在本装置上。

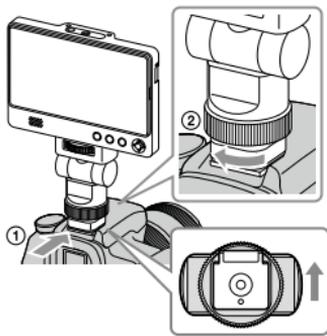
- 
- 1 将热靴转换器的三脚架螺丝插入本装置的三脚架插孔中。  
请将热靴转换器的螺丝插入本装置的螺丝插孔中。

- 
- 2 将热靴转换器转盘转至锁定位置。



- 
- 3 如图所示，将热靴转换器装入（卡入）相机/摄像机热靴。

- ① 沿图中所示的方向插入热靴转换器的底座。
- ② 沿 ◀ (LOCK) 方向将热靴转换器转盘转到底，从而将其牢牢固定到相机/摄像机上。



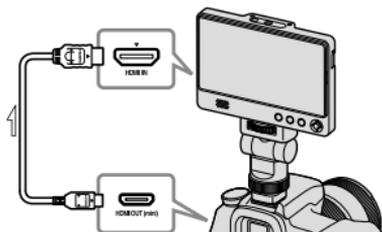
安装至相机/摄像机时，应同时阅读相机/摄像机的使用说明书。

#### 注意

- 如果使用配备有弹出式内置闪光灯的相机/摄像机，应注意以下几点：
  - 务必关闭相机/摄像机的内置闪光灯。如果相机/摄像机有内置自动闪光功能，请将该功能关闭。
  - 使用闪光灯之前，请将本装置从相机/摄像机上卸下。

- 使用前务必将本装置牢牢固定到相机/摄像机上，以防本装置在拍摄过程中摔落。

#### 4 利用附带的正确类型的高清音频视频线将本装置连接到相机/摄像机上。



- 如果电缆不够长，可使用 Sony 高清音频视频线（未附带）。

#### 注意

- 通过高清音频视频线将本装置连接至相机/摄像机时，取决于相机/摄像机，有时会出现下列情况。
  - 相机/摄像机的 LCD 屏幕上未显示任何影像。

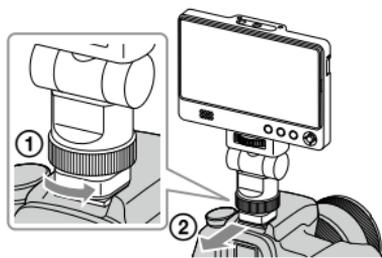
续

- 相机/摄像机切换到播放模式。（确保在拍摄照片前将相机/摄像机切换到拍摄模式。）
- 在下列情况下，经过一定时间之后，本装置的背光将熄灭。
  - 相机/摄像机没有输出 HDMI 信号
  - 高清音频视频线被断开

执行下列操作将重新开启背光。

- 按 C1 按钮、C2 按钮、MENU 按钮或 ZOOM/SELECT 按钮。
- 操作相机/摄像机并输出 HDMI 信号。
- 重新连接高清音频视频线并开启相机/摄像机电源。

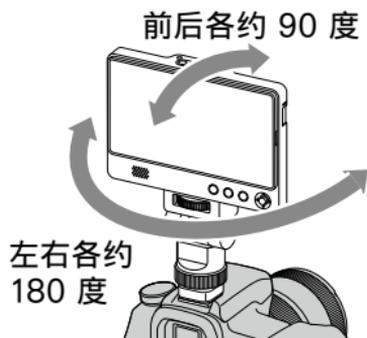
- ① 沿 ◀ (LOCK) 的反方向将热靴转换器转盘转到底，从而解除锁定。
- ② 确保锁定已解除，然后向内侧方向滑动热靴转换器。



从相机/摄像机上卸下断开高清音频视频线，然后将本装置从相机/摄像机的热靴上卸下。

## 调整屏幕方向

热靴转换器的摇摄和倾斜功能允许沿任意方向移动本装置的屏幕。



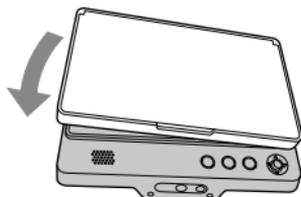
### 注意

- 取决于电池和相机/摄像机，本装置可能会干扰内置闪光灯。摇摄和倾斜时请勿施加过大的力量。
- 牵引高清音频视频线时要小心，不要令其绷紧，也不要绊到任何移动部件上。

## 安装遮光罩

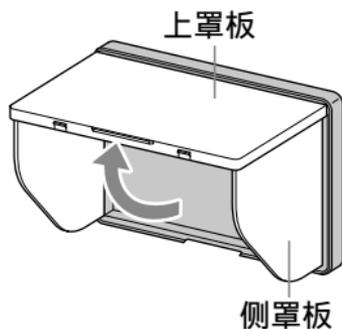
遮光罩可防止阳光反射，让影像更加清晰。

- 1 让遮光罩边框上的夹子与本装置外边框上的孔对齐，然后安装就位。



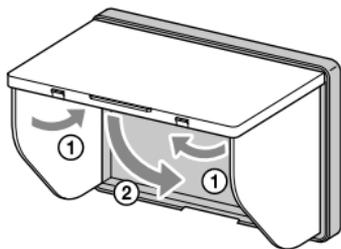
先固定罩板的右侧部分，然后将罩板的左侧部分压入。

- 2 请按图中所示打开遮光罩。



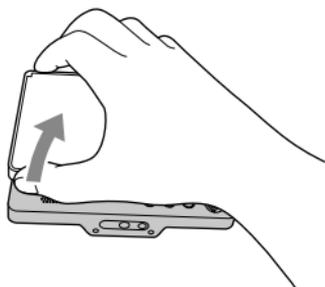
## 关闭遮光罩

按照图中所示的步骤关闭遮光罩。



## 卸下遮光罩

将遮光罩边框的左侧部分向内侧拉，从而将其卸下。

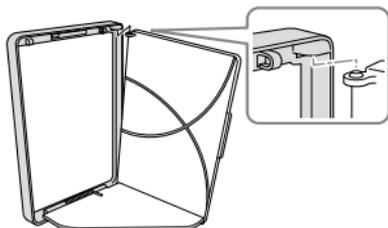


## 如果罩板从边框上脱落下来

当受到外力作用时，上罩板或侧罩板会从边框上脱落下来，以防发生破裂。

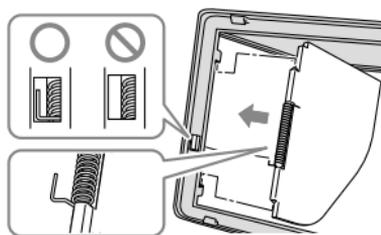
- 如果侧罩板从边框上脱落下来

① 卸下上罩板。



② 安装侧罩板。

将弹簧的突出端压入边框侧面的中间凹槽中，然后将侧罩板的突出部分固定到边框侧面的上下凹槽内。

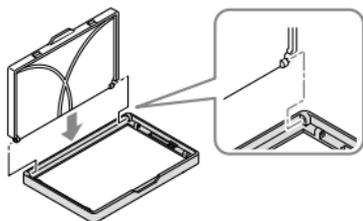


## 注意

只有当弹簧的突出端正确卡入凹槽时，侧罩板才会打开。如果侧罩板未打开，请重新安装弹簧，使其突出端卡入凹槽内。

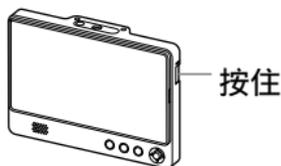
- 如果上罩板从边框上脱落下来

如图所示，将上罩板的突出部分固定到边框上部的凹槽内。



# 使用显示器

- 1 开启相机/摄像机及本装置的电源。  
按住电源按钮  $\odot$  可开启本装置的电源。



相机/摄像机的取景器影像将显示在本装置的LCD屏幕上。

要开启相机/摄像机的电源，请参阅相机/摄像机的使用说明书。

在本装置电源开启的情况下，通过按住电源按钮  $\odot$  可以关闭电源。

## 注意

- 如果影像分辨率为“1920 × 1080”或以下，影像就会自动放大（自动变焦功能）。
- 本装置的纵横比为16:9。纵横比为其他值的影像在显示时可能会出现黑色条纹。

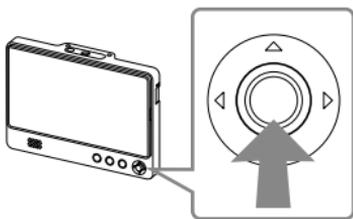
影像示例) 3:2



## 放大影像

您可以对所显示影像的局部进行放大。

- 1 显示影像时，按 ZOOM/SELECT 按钮的中心位置。  
每按一次该按钮，放大倍率就会依照  $\times 3 \rightarrow \times 6 \rightarrow \times 1$ （或  $\times 1.3$ ）的顺序切换。（第 19 页）



- 2 按 ZOOM/SELECT 按钮的 ▲/▼/◀/▶，显示所需的影像位置。  
以 x3 或 x6 放大影像时，可利用小图检查所放大影像的位置。



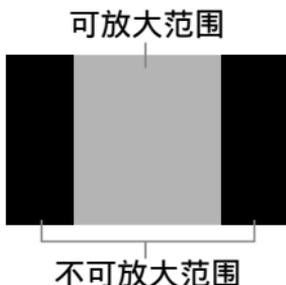
- 1 放大倍率  
显示当前放大倍率。
- 2 小图  
显示一张小图 (5 x 5)，指示放大部分。
- 3 移动导标 (上/下/左/右)

### 注意

取决于放大倍率或输入信号的种类，可放大范围可能会受到限制。

使用 x6 放大时，可放大范围包括所有输入信号。

使用 x3 放大时，可放大范围限于 1080/24p 的输入信号。



\* 图示仅用于指示。

## 菜单设置

您可以设置一些简单设定，如音量或屏幕亮度，也可以设置高级设定，如色温或 S-Log 显示助手。

- 1 按本装置上的 MENU 按钮。  
屏幕右侧显示 MENU。
- 2 按 ZOOM/ SELECT 按钮的 ▲/▼，让光标与所要使用的功能图标对齐。

续



有关各图标的详细信息，请参阅第 19、20 页。

- 
- 3 按 ZOOM/SELECT 按钮的中心位置。  
重复步骤 2 和 3，直至显示所需的功能或所需的设置。
- 
- 4 按 ZOOM/ SELECT 按钮的 ▲/▼，选择所需的设置或所需设置的详细信息。
- 
- 5 按 ZOOM/SELECT 按钮的中心位置。  
此时将保存所需的设置并返回 MENU。

### 注意

如果在步骤 5 之前按了 MENU 按钮，就会取消设置。

如果 MENU 处于显示状态，则按 MENU 按钮将会予以隐藏。

### 预览功能

在保存设置前，可以查看其效果。有关适用于预览功能的项目的详细信息，请参阅第 19、20 页。

## 可用设置

图标	设置项目
	放大* 经 HDMI 输入的影像约放大 1.3 倍。 设置: OFF、ON 默认值: OFF
	电视显示区域 (标志器显示) (第 28 页) 在视角内显示网格, 用于指示 LCD 屏幕上显示的区域。
	音量* 设置: 0 (低) 至 100 (高) 默认值: 30
	亮度* 设置: 0 (暗) 至 100 (亮) 默认值: 50
	对比度* 设置: 0 (柔和) 至 100 (尖锐) 默认值: 50
	色调 (分级/色度) * 设置: 0 (绿色) 至 100 (紫罗兰色) 默认值: 50
	背光* 设置: 0 (暗) 至 5 (亮) 默认值: 5
	色温 (调整屏幕的白平衡) * 设置: 9300K、7200K、6500K 默认值: 6500K
	S-Log 显示助手 ON/OFF* (第 27 页) 设置: OFF、ON 默认值: OFF
	高级设置 (第 20 页)

\*本装置具有预览功能。(第 18 页)

续

## 可用设置（高级设置）

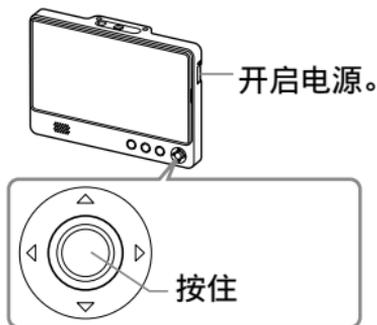
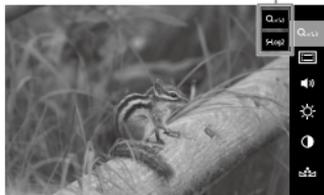
图标	设置项目
	<p>自定义按钮 (C1/C2) 注册常用功能。 可用功能：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 峰值 (第 22 页)</li> <li> 假彩色 (第 23 页)</li> <li> 视频电平标志器 (第 26 页)</li> <li>  音量 (第 19 页)</li> <li>  亮度 (第 19 页)</li> <li> 对比度 (第 19 页)</li> <li> 色调 (分级/色度) (第 19 页)</li> <li> 背光 (第 19 页)</li> </ul> <p>默认设置：峰值 (C1)、假彩色 (C2)</p>
	<p>S-Log 显示助手类型* (第 27 页) 可以选择 S-Log 显示助手的类型。 设置：S-Log2、S-Log3 默认值：S-Log2</p>
	<p>S-Log 显示助手增益调整* (第 27 页) 可以选择 S-Log 显示助手的增益调整设置。 设置：+2、+1、0、-1、-2 默认值：0</p>

\*本装置具有预览功能。(第 18 页)

## 小图标

当将“放大”或“S-Log 显示助手 ON/OFF”设为 ON 时，将显示小图标。

小图标



## 注意

- 显示预览时，小图标不会改变。
- 取决于放大设置（第 16 页），即使在影像放大  $\times 3/\times 6$  时，也会显示“ $\times 1.3$ ”小图标。

## 初始化

- ① 关闭本装置的电源。
- ② 在按住 ZOOM/SELECT 按钮中心位置的同时，开启本装置电源。

## 峰值

该功能以黑白方式显示整个影像，以一定颜色显示聚焦部分。无论拍摄状况如何，这样都更便于检查哪些部分真正聚焦。

- 1 向本装置的 C1 按钮或 C2 按钮注册 [PEAK]。依照默认设置，[PEAK] 注册在 C1 按钮上。如果 [PEAK] 尚未进行注册，请按 [高级设置] → [C1] 或 [C2] 进行注册（第 20 页）。

- 2 按下要注册 [PEAK] 的按钮。



对聚焦部分施加颜色



再次按步骤 2 中的同一按钮或按 MENU 按钮将返回 MENU 显示。再次按 MENU 按钮将隐藏 MENU。

### 注意

取决于本装置的规格，有时相机/摄像机的菜单显示上也会施加颜色。这不属于故障。

## 假彩色

可以用颜色来检查输入影像相对于本装置的电平。

有关假彩色与视频信号电平之间的关系，请参阅第 24 页上的图表 1。

- 1 向本装置的 C1 按钮或 C2 按钮注册 [FC]。  
默认情况下，[FC] 注册为 C2 按钮。  
如果 [FC] 尚未进行注册，请按 [高级设置] → [C1] 或 [C2] 进行注册（第 20 页）。
- 2 按下要注册 [FC] 的按钮。  
再次按步骤 2 中的同一按钮或按 MENU 按钮将返回上一屏幕。

使用假彩色功能的同时，还可以使用 S-Log 显示助手（第 27 页）。

有关使用 S-Log 显示助手时的假彩色与视频信号电平之间的关系，请参阅第 24、25 页上的图表 2 和 3。

图表 1：假彩色的色彩等级与信号电平

红色	108 或以上
黄色	100 - 108
粉红色	61 - 65
绿色	41 - 45
蓝色	3 - 10
紫罗兰色	3 或以下

单位：%

图表 2：假彩色的色彩等级与信号电平  
(S-Log 显示助手类型：S-Log2)

增益调整	S-Log2				
	-2	-1	0	+1	+2
红色	109 或以上	98 或以上	85 或以上	72 或以上	60 或以上
黄色	91 - 109	78 - 98	66 - 85	53 - 72	41 - 60
粉红色	62 - 63	49 - 52	38 - 40	28 - 29	19 - 21
绿色	49 - 52	37 - 40	27 - 30	19 - 21	12 - 14
蓝色	3 - 15	3 - 10	3 - 7	3 - 5	3 - 4
紫罗兰色	3 或以下				

单位：%

图表 3：假彩色的色彩等级与信号电平  
(S-Log 显示助手类型：S-Log3)

增益调整	S-Log3				
	-2	-1	0	+1	+2
红色	97 或 以上	88 或 以上	79 或 以上	70 或 以上	61 或 以上
黄色	83 - 97	74 - 88	65 - 79	57 - 70	48 - 61
粉红色	63 - 64	54 - 55	45 - 46	37 - 38	29 - 30
绿色	53 - 56	45 - 47	36 - 38	28 - 30	21 - 23
蓝色	4 -24	4 -18	4 -12	4 -8	4 -6
紫罗兰色	4 或以下				

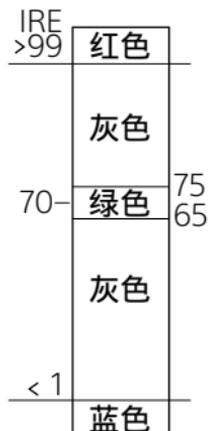
单位：%

## 视频电平标志器

依照如下所选的绿色，显示输入影像的 IRE 电平。

- 1 向本装置的 C1 按钮或 C2 按钮注册 [VLM]。要注册 VLM，请按 [高级设置] → [C1] 或 [C2] (第 20 页)。

- 2 选择 VLM 电平。  
通过按 [高级设置] → [VLM] 可选择电平。  
设置  
90%/80%/70%/60%/50% (视频信号电平)  
设置值越高，绿色度越偏红色。



示例) 设置 (70%)

- 3 按下在步骤 1 中注册为 [VLM] 的按钮 (C1 或 C2 按钮)。视频电平将以相应的颜色显示在本装置的 LCD 屏幕上。  
再次按步骤 3 中的同一按钮或按 MENU 按钮将恢复正常的屏幕显示。

注意

- 使用 VLM 时，S-Log 显示助手 (第 27 页) 将临时处于 [OFF] 状态。
- IRE 数值具有不确定性。建议您检查实际影像。

## 以自然亮度查看 S-Log 影像 (S-Log 显示助手)

本装置可以接近实际影像的亮度和对比度来显示 S-Log 影像，从而使其更便于聚焦或监控。

按 MENU 按钮，然后选择 [S-Log] → [ON] 屏幕显示 S-Log 显示助手。

选择 [OFF] 将恢复正常的屏幕显示。

### 注意

- S-Log 显示助手、S-Log 显示助手类型及 S-Log 显示助手增益调整是一组专为本装置的影像输入而设计的功能集。这些功能并非用于操作本装置上连接的相机/摄像机。
- 在 S-Log 显示助手中显示的颜色已略有改变。

在 S-Log 显示助手中显示影像时，可以更改以下设置。

设置 S-Log 显示助手中的曲线 (S-Log 显示助手类型)

- ① 按 MENU 按钮，然后选择 [高级设置] → [S-Log Type (S-Log 类型)]。
- ② 选择 [S-Log2] 或 [S-Log3]。

设置 S-Log 显示助手中的亮度 (S-Log 显示助手增益调整)

- ① 按 MENU 按钮，然后选择 [高级设置] → [S-Log Gain (S-Log 增益)]。
- ② 选择 [+2]、[+1]、[0]、[-1] 或 [-2]。

续

S-Log 显示助手增益调整：举例而言，如果将相机/摄像机在亮度等级约为 -2Ev 下拍摄的影像输入本装置，则可通过选择 [+2] 将其亮度调整为约 +2Ev。

## 电视显示区域 (标志器显示)

该功能在视角内显示网格，用于粗略指示拍摄区域。网格有两种，分别占视角的 80% 和 90%。您可以选择适合自己电视播放状况的网格。

(设置：80% (16:9)、  
90% (16:9)、80%  
(4:3)、90% (4:3))

16:9



4:3



(外标志器为 90%，内标志器为 80%)

### 注意

- 本装置的设置仅用于在显示器上显示影像，不会影响到原始影像本身。
- 当显示 MENU 及使用以下功能时，不会出现标志器显示。
  - 假彩色
  - 峰值
  - 视频电平标志器
  - x3、x6或 x1.3

# 故障排除

送修前，应进行必要的检查。如果本装置仍无法正常工作，请与 Sony 经销商联系。

故障	原因/措施
无法取出电池	<ul style="list-style-type: none"><li>• 电池未解除锁定。 → 向下滑动电池释放杆，然后取出电池（第 8 页）。</li></ul>
本装置没有电	<ul style="list-style-type: none"><li>• 电池电量已用尽。 → 更换电池。（第 8 页）</li><li>• 电源适配器（未附带）被断开。 → 重新进行正确连接。（第 9 页）</li><li>• 电池（未附带）松脱。 → 进行正确安装（第 8 页）。</li></ul>
本装置的屏幕上未显示任何影像	<ul style="list-style-type: none"><li>• 相机/摄像机处于节电模式下。 → 执行某些相机/摄像机操作，如半按快门按钮，从而退出节电模式。</li><li>• 高清音频视频线被断开。 → 重新进行正确连接。（第 11 页）</li><li>• 参阅相机/摄像机的使用说明书，检查相机/摄像机的显示设置。</li></ul>
相机/摄像机的屏幕上未显示任何影像	<ul style="list-style-type: none"><li>• 取决于相机/摄像机，当通过高清音频视频线与本装置相连时，影像可能只显示在本装置的屏幕上。有关详细信息，请参阅相机/摄像机的使用说明书。</li></ul>

其他

续

故障	原因/措施
听不到声音	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 连接了耳机。 → 连接耳机时，本装置的扬声器将不输出任何声音。</li> <li>• 确保本装置的音量未设为 0。（第 19 页）</li> <li>• 确保相机/摄像机的声音设置未设为 OFF（关）。*</li> <li>• 有些相机/摄像机不输出声音。*</li> </ul> <p>*有关详细信息，请参阅相机/摄像机的使用说明书。</p>
无法拍摄	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 取决于相机/摄像机，当与本装置相连时，有时它会切换到播放模式。请在拍摄照片前将相机/摄像机切换到拍摄模式。</li> </ul>
屏幕看不清	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用遮光罩遮挡阳光。（第 13 页）</li> <li>• 如果屏幕较暗，请参阅“背光”（第 19 页），调整屏幕亮度。</li> </ul>
屏幕上出现黑色条纹	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本装置上 LCD 屏幕的纵横比为 16:9。因此，视影像而定，有时会出现黑色条纹。（第 16 页）</li> </ul>

# 使用须知

## 关于电池、电源适配器及充电器

本装置未附带电池、电源适配器及充电器。

请使用兼容的电池和电源适配器

(第 9 页)。

如果您没有电池或电源适配器，请另行购买。

## 操作 LCD 屏幕

- 请不要让 LCD 屏幕直接面对阳光，这样可能会损伤 LCD 屏幕。在窗边或室外放置本装置时一定要非常小心。
- 请不要扳拉 LCD 显示屏或将显示屏擦伤。请不要在 LCD 显示屏上放置任何重物。否则，可能会导致屏幕失去均匀性或造成屏幕故障。
- 如果在寒冷的环境下使用本装置，屏幕上可能会出现水平线或残留影像。这不属于故障。当显示器变暖后，屏幕会恢复到正常状况。

- 如果长时间显示一个固定的图像或静止图像，屏幕上可能会残留影像，并层叠成重影。
- 屏幕和机壳在操作过程中会逐渐变热。这不属于故障。
- 本装置所用的 LCD 屏幕是采用高精密技术生产的。因此只有很少一部分像素可能会表现为“亮点”，或者始终是暗点（黑色）、变亮（红色、绿色或蓝色），或呈闪烁状态。此外，经过长时间使用后，由于液晶显示屏本身的物理特性，有时也会自然形成这种“亮点”。这些问题并非故障。

## 清洁

清洁之前

请务必先将电池取出。

其他

续

## 清洁显示屏

此显示屏表面经过特殊处理，可以减少反射光。

维护不当可能会降低显示器的性能，因此需要注意以下几点：

- 请使用软布（如清洁布或玻璃清洁布）轻轻擦拭屏幕。
- 使用浸过水的潮湿软布（如清洁布或玻璃清洁布）可以擦除顽固污渍。
- 切勿使用诸如酒精、苯或稀释剂等溶剂，或者酸性、碱性清洁剂或擦洗剂以及化学清洁布，因为它们会损坏屏幕表面。

## 清洁机壳

- 请使用柔软的干布轻轻擦拭机壳。
- 使用酒精、苯、稀释剂或杀虫剂可能会破坏机壳的表面光泽，或者擦掉机壳上的指示。请勿使用这些化学品。
- 如果用脏布擦拭机壳，可能会刮伤机壳表面。
- 如果机壳长时间与橡胶或乙烯树脂产品接触，机壳的表面涂层将会被破坏或脱落。

## 弃置

- 请勿将本装置与普通垃圾一起弃置。切勿将显示器扔到进行填埋处理的垃圾中。

## 关于本装置

- 经过长时间使用后，本装置的顶部、通风孔及金属部件可能会变热。如需在使用时或使用后握持本装置，应格外小心。

# 规格

## 图像质量

LCD 屏幕:

TFT 通常为黑色

图像尺寸: Type 5

视角:

约 80° /约80°

有效图像尺寸 (约)

(宽 × 高):

110 mm × 61.9 mm

分辨率: 1920 × 1080

像素

纵横比: 16:9

## 输入/输出

### 输入

HDMI 输入插孔: HDMI  
(Type A) (1)

DC IN 插孔: DC 7.6 V

### 输出

内置扬声器输出:  
约 0.5 W 单声道

耳机输出插孔:  
Ø 3.5 立体声微型插孔  
(1)

## 一般信息

电源:

DC 7.2 V

Sony M 系列电池

Sony W 系列电池

DC 6.8 V

Sony V 系列电池

(NP-FV50, NP-FV70,

NP-FV100)

DC 7.4 V

Sony V 系列电池

(NP-FV100A)

DC 7.6 V

AC-PW10AM

功耗:

约 5.5 W

尺寸 (约) (宽/高/深):

139 mm × 100 mm ×

23.1 mm

(不包括突出部位)

质量:

约 270 g (仅主机)

操作温度:

约 0 °C - 40 °C

存放温度:

约 -20 °C - +60 °C

其他

续

提供的附件：

热靴转换器 (1)、遮光罩 (1)、电池适配器 (1)、高清音频视频线 (Mini HDMI) (约 45 cm, Type A↔Type C) (1)、高清音频视频线 (Micro HDMI) (约 45 cm, Type A↔Type D) (1)、携带包 (1)、成套印刷文件

设计或规格如有变动，恕不另行通知。

为避免造成环境污染，请将废弃产品按照当地法规进行处置。

## 可用的信号格式

本装置可使用以下信号格式。

系统	总线数	有效线数	帧速率	扫描	纵横比
480/60i (NTSC)	525	483	30	2:1 隔行	16:9/4:3
480/60p	525	483	60	逐行	16:9/4:3
640x480/ 60p	525	480	60	逐行	4:3
575/50i (PAL)	625	575	25	2:1 隔行	16:9/4:3
576/50p	625	576	50	逐行	16:9/4:3
720/50p	750	720	50	逐行	16:9
720/60p	750	720	60	逐行	16:9
1080/50i	1125	1080	25	2:1 隔行	16:9
1080/60i	1125	1080	30	2:1 隔行	16:9
1080/24p	1125	1080	24	逐行	16:9
1080/50p	1125	1080	50	逐行	16:9
1080/60p	1125	1080	60	逐行	16:9

其他



## 产品中有害物质的名称及含量

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联 苯 (PBB)	多溴二 苯醚 (PBDE)
内置线路板	×	○	○	○	○	○
外壳	×	○	○	○	○	○
附件	×	○	○	○	○	○

本表格依据SJ/T 11364 的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T 26572 规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572 规定的限量要求。

<http://www.sony.net/>

© 2015 Sony Corporation Printed in China



4572803010